首振角度切換方法

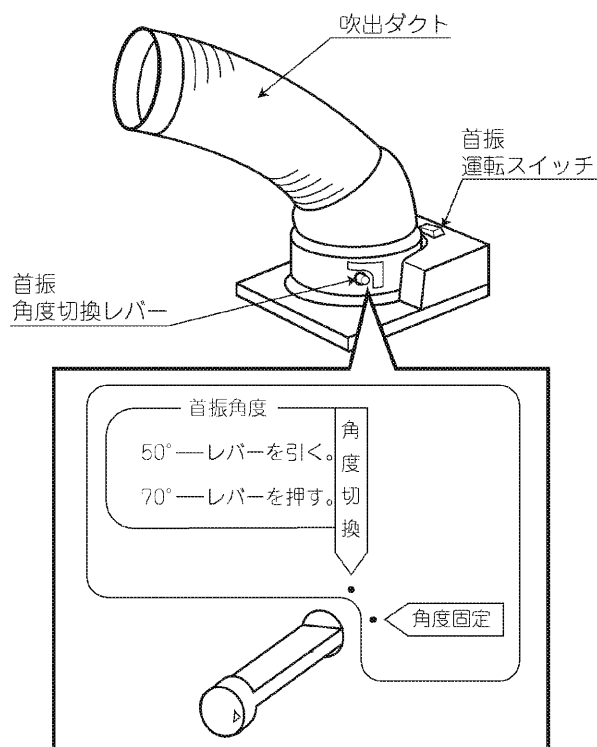
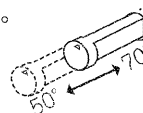
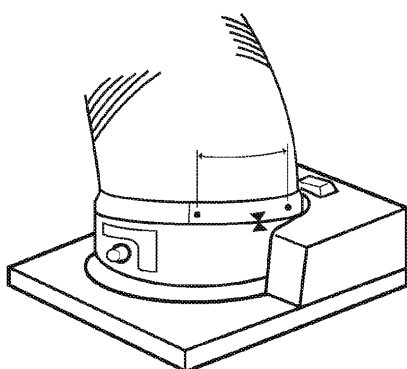
首振角度は50°または70°に設定できます。

首振角度を変更する場合は次の手順で行ってください。

吹出ダクト

首振
運転スイッチ

首振
角度切換レバー

首振角度
50°—レバーを引く。
70°—レバーを押す。
角度切換
角度固定

1	**首振角度切換レバー**を**角度固定**から **角度切換**に回します。
2	首振角度を設定します。 50°——レバーを引く 70°——レバーを押す
3	設定後、必ず角度切換レバーを **角度固定**に戻します。

- **首振運転を行うとき角度切換レバーは確実に「角度固定」の位置にセットしてください。**
- **角度の変更および吹出ダクトを曲げるときは必ず首振運転を停止してください。**

●吹出ダクトの銘板（·▼·印部）の•印から•印の範囲で向きを変えることができます。
吹出ダクトを持って軽く回してください。

運転について

上手な使いかた

●**エアコンを移動させるときは**
指定の箇所以外を押すのをやめましょう

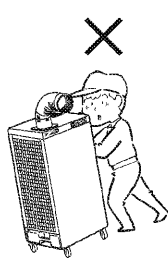
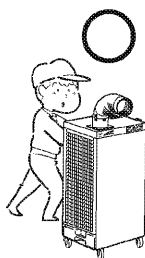
その他の部分を押すと、転倒の原因になります。
エアフィルターの裏側には熱交換器があり、
押さえるとフィンが変形するおそれがあります。
機械を移動させる場合は、
キャスター（自由輪）のロックを
解除状態にしてください。
また、移動経路に段差や障害物があると、
転倒の原因になります。必ず平坦な場所で
移動させてください。
（注）機械は転倒防止のため15°以上
　　傾けないでください。

禁止

（SUASP1BS・SUASP1BT
SUASSP1BS・SUASSP1BT
SUASP1CS・SUASP1CT
SUASSP1CS・SUASSP1CT
SUBSP1BS・SUBSP1BT
SUBSP1CS・SUBSP1CT の場合）

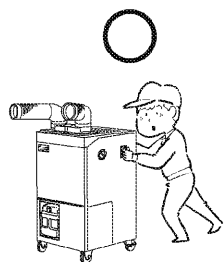
天板後側をしっかり持って押して
ください。

○

×

（SUASSP2A・SUASSP2B
SUASP2AU・SUBSP2AU
SUASP2BU・SUBSP2BU
SUASP3AU・SUBSP3AU の場合）

側面後側のとってをしっかり持って
押してください。

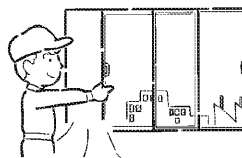
○

×

●**吹出口・吸込口の近くにものを置くのを**
やめましょう

能力が低下、または
運転が停止する
ことがあります。

禁止

●**狭い場所での使用は、窓や扉を開けましょう**

締め切った狭い場所では室温が上昇します。

●**エアフィルターはこまめに清掃しましょう**

汚れたまま運転すると能力の低下、
または故障の原因になることがあります。

18,19 ページ参照

●**テレビ・ラジオ・ステレオなどは**
スポットエアコンから
1m以上離しましょう

映像が乱れたり、雑音が入ることがあります。

⚠警告

●可燃性のガス（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

⚠注意

●エアコンを水洗いしない
感電や火災の原因になることがあります。

水ぬれ禁止

●お手入れのときは必ず運転を停止し電源をしゃ断してから、電源プラグを抜く
感電やけがの原因になることがあります。

●ドレンタンクは必ず水を捨て、製品に取り付けて使用する
（ドレンホース接続時はドレンタンクは不要です）
ドレンタンクがないと、水もれや感電の原因になることがあります。

お願い
●清掃時以外は、エアフィルターを外さないでください。故障やけがの原因になることがあります。
●吸込口に正規のエアフィルター以外のもの（キッチンペーパーなど）を取り付けないでください。
性能が低下し、凍結・水もれの原因になることがあります。

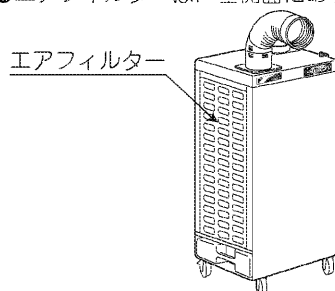
日常のお手入れ

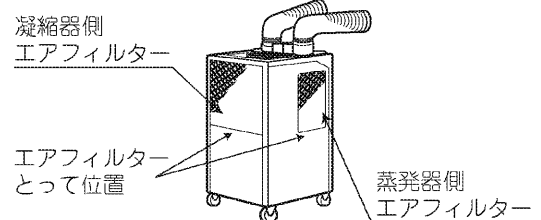
エアフィルターの清掃のしかた①

●汚れのひどいところでご使用になる場合は1週間に1度清掃してください。
通常は2週間に1度が目安です。

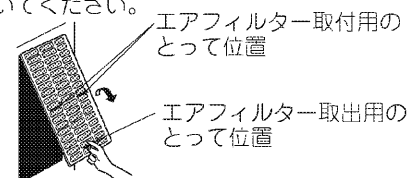
お願い
●清掃を行わないと、悪臭の原因になることがあります。
●熱交換器からの結露水が正常に流れずに、機外に水もれするおそれがあります。

（SUASP1BS・SUASP1BT
SUASSP1BS・SUASSP1BT
SUASP1CS・SUASP1CT
SUASSP1CS・SUASSP1CT
SUBSP1BS・SUBSP1BT
SUBSP1CS・SUBSP1CT の場合）

●エアフィルターは、左側面にあります。（1枚のみ）

（SUASSP2A・SUASSP2B
SUASP2AU・SUBSP2AU
SUASP2BU・SUBSP2BU
SUASP3AU・SUBSP3AU の場合）

●エアフィルターは、蒸発器側と凝縮器側にそれぞれ1枚ずつあります。

1. **エアフィルターを取り出します。**

（SUASP1BS・SUASP1BT
SUASSP1BS・SUASSP1BT
SUASP1CS・SUASP1CT
SUASSP1CS・SUASSP1CT
SUBSP1BS・SUBSP1BT
SUBSP1CS・SUBSP1CT の場合）

エアフィルターのとってを少し持ち上げ、下方へ引き抜いてください。

（次ページにつづきます。）

エアフィルターの清掃のしかた②

2. 清掃します。

取り出したエアフィルターは、
清水かぬるま湯で洗ってください。

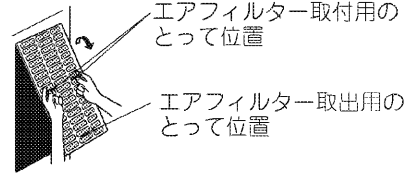
汚れがひどい場合、柔らかいブラシや中性洗剤を使って洗ってください。 → 水切りし、日陰で乾かしてください。

- **50℃以上のお湯で洗わないでください。変形することがあります。**
- **火であぶらないでください。燃えることがあります。**
- **長時間、直射日光に当てないでください。縮むことがあります。**

3. エアフィルターを取り付けます。

エアフィルター取付用のとって(2ヵ所)を
両手で持ち、取り付けてください。

エアフィルター取付用のとって位置

エアフィルター取出用のとって位置

外装の清掃のしかた

- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れがとれないときは、水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞った布でふき取ったあと、からぶきしてください。

- **ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。**
- **50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。**

マイナスイオン発生部の清掃のしかた

(SUASSP1BS・SUASSP1BTのみ)
油やゴミの付着によりマイナスイオン発生量が減りますので、汚れてきたら清掃してください。

- 柔らかい布でからぶきしてください。
- 汚れがとれないときは、水でうすめた中性洗剤にひたしてよく絞った布でふき取ったあと、からぶきしてください。

- **ガソリン・ベンジン・シンナー・ミガキ粉・市販の液状殺虫剤などは使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。**
- **50℃以上のお湯を使用しないでください。変色や変形の原因になることがあります。**
- **強くつかんだりこすったりしないでください。変形や破損の原因になることがあります。**

ドレンタンクの排水について

- ドレンタンク内の水位は毎日数回こまめに点検し、排水してください。
  水もれの原因になることがあります。
  (条件によっては数時間で満水になることがあります。)
- (SUASSP1BS・SUASSP1BT・SUASSP1CS・SUASSP1CT・SUBSP1BS・SUBSP1BT・SUBSP1CS・SUBSP1CTの場合)
  満水ランプが点灯したときは、運転操作ツマミを「停止」にしてからドレンタンクの水を捨ててください。
  ドレンタンクを収納後、満水ランプの消灯を確認し、再運転してください。

- **ドレンタンクをエアコンより取り出す際は、タンクのとってをしっかり持ち、水平にゆっくりと引き出してください。**
  急な取り出しは、タンクの落下によりけがや水もれ、ドレンタンク破損の原因になることがあります。
- **ドレンタンク収納後、ドレンタンク上部の穴にドレンホース先端が入っていることを確認してください。**
  (外れていると水もれの原因になります。)
  (SUASSP2A・SUASSP2B・SUASP2AU・SUASP2BU・SUBSP2AU・SUBSP2BU・SUASP3AU・SUBSP3AUのみ)

その他の日常のお手入れ

性能を維持しより長くご愛用いただくために、次のお手入れをしてください。

- コンセントと電源プラグは定期的に清掃して、ホコリなどを取り除いてください。
- アース線は、断線・ねじ端子のゆるみがないか定期的に点検してください。(外郭にアース端子がある場合)

シーズン始め・終わりのお手入れ

シーズン始め

確認してください。

- エアコンのまわりに障害物がありませんか？
  障害物がある場合は取り除いてください。
  障害物の影響で風量低下による能力低下や水もれ・機器の故障につながります。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。
  清掃のしかたは 18,19 ページ参照

電源プラグをコンセントに差してください。
電源を入れてください。

シーズン終わり

晴れた日に半日ほど送風運転をし、内部をよく乾燥させてください。

- カビなどの発生を防止するためです。
  送風運転のしかたは 13 ページ参照

電源をしゃ断してください。
電源プラグをコンセントから抜いてください。
ドレンタンクの水は必ず捨ててください。

エアフィルターと外装を清掃してください。

- エアフィルターは清掃後、必ず元の位置に戻してください。
  清掃のしかたは 18,19 ページ参照

熱交換器やファンを洗浄する場合は、必ずお買上げの販売店にご依頼ください。

調子がおかしいときは

サービスを依頼される前にお調べください。

症状	原因	処置
まったく運転しない	電源ブレーカーのとってがOFF位置またはトリップ位置になっていませんか？ 	●電源ブレーカーのとってがOFF位置の場合は、電源を入れてください。 ●電源ブレーカーのとってがトリップ位置の場合は、電源を入れないで販売店にご連絡ください。
	停電ではありませんか？	停電復帰後、運転操作ツマミを「停止」にし、再運転してください。
	ヒューズ付負荷開閉器のヒューズが切れていませんか？	ヒューズを確認し、ヒューズが切れている場合は、お買上げの販売店にご連絡ください。
運転するがすぐに止まる	エアコンの上やエアフィルターの前にものを置いていませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 18,19 ページ参照
	凝縮器にゴミやホコリが詰まっていませんか？	お買上げの販売店にご相談ください。
	周囲温度が高すぎませんか？	風通しを良くするなどして、連続運転可能範囲内でご使用ください。 14 ページ参照
よく冷えない	吹出口をふさいだり、エアコンの上やエアフィルターの前にものを置いたりしていませんか？	障害物を取り除いてください。
	エアフィルターが目詰まりしていませんか？	エアフィルターを清掃してください。 18,19 ページ参照
	満水ランプが点灯していませんか？	ドレンタンクの水を捨ててください。 19 ページ参照
	延長コードを使っていませんか？	延長コードを使わず、直接コンセントに接続してください。※1
	周囲温度が高すぎませんか？	風通しを良くするなどして、連続運転可能範囲内でご使用ください。 14 ページ参照
	ほかの設備の排熱空気を吸い込んでいませんか？	設置場所を変えてください。
	蒸発器にゴミやホコリが詰まっていませんか？	熱交換器の洗浄が必要な場合がありますので、お買上げの販売店にご相談ください。

以上のことをお調べになったうえで、なお調子が良くないときはご自分で修理しないで、お買上げの販売店にご連絡ください。
このとき、症状と機種名をお知らせください。
（機種名は製品外板下方に取り付けている銘板に記載しています。）
※1　運転可能電圧：90～110V、（100V機の場合）

次の場合は、故障ではありません。

症状		原因
白い霧が出る	冷房時、湿度が高いとき （油分やホコリの多い場所）	エアコン内部の汚れがひどい場合に、 湿度ムラが生じるためです。（注1）
音が出る	冷房運転スタート時の「ジー」という連続音	冷房運転したときの圧縮機の音です。 しばらくすると消えます。
	運転停止後の「シュルシュル」という音	ガス（冷媒）の流れが止まる音、 または流れが変わる音です。
ホコリが出る	長時間運転停止後、ふたたび運転を始めるとき	エアコン内部に付着したホコリが 吹き出るためです。
ニオイが出る	運転中	部屋のニオイ、たばこのニオイなどが エアコン内部で吸着されて吹き出す ためです。（注2）

注1．エアコンの内部の洗浄が必要です。洗浄には専門の技術が必要ですのでお買上げの販売店にご依頼ください。
注2．ニオイの原因となるものを吸込口から離してください。

次の場合は販売店へご連絡ください。

⚠警告

●**異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止し電源をしゃ断してから、電源プラグを抜く**

異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。

症状	次の処置をしてから連絡を
電源コード・ケーブルが異常に熱い。 **電源コード・ケーブルが破れている。**	操作ツマミで停止にし、 電源をしゃ断してから、 電源プラグを抜いてください。
電源ヒューズ・電源ブレーカー・漏電しゃ断器などの **安全装置が作動する。**	電源をしゃ断してください。
運転スイッチの作動が不確実。	電源をしゃ断してください。
エアコンから水がもれる。	運転を停止してください。

別売品について

エアコンの機能を幅広くご利用いただけるように、専用部品を用意しております。
ご入用の際にはダイキン純正品とご指定ください。詳細はお買上げの販売店にお問合せください。

⚠警告

●別売品の取付工事は、自分でしない
別売品は当社指定以外のものは使用しない
取付けに不備があると、水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご依頼ください。(裏表紙参照)

防露テープ ……… ダクト表面に巻くと、水滴発生が防止できます。

中性能フィルター ……… 小さなホコリの職場に使用すると、よりクリーンな冷風吹出しができます。

アルミ製フィルター ……… 溶接職場の火花によるフィルター穴空き防止ができます。

排気ダクト ……… 凝縮器からの温風排気を上または横方向に逃がすことができます。
(SUASSP2A・SUASSP2Bは除く、SUASSP1BS・SUASSP1BT・SUASSP1CS・SUASSP1CTは標準付属品)

延長ダクト ……… 風向を自由に変えることができます。
(SUASSP2A・SUASSP2Bは除く)

2口吹出口 ……… 冷風の吹出しを2つに分岐することができます。
(SUASSP1BS・SUASSP1BT・SUASSP1CS・SUASSP1CT・SUASSP2A・SUASSP2Bは除く)

リモコンスイッチ ……… 離れた場所からエアコンの運転・停止ができます。
(SUASSP2A・SUASSP2B・SUASP2AU・SUASP2BU・SUASP3AU・SUBSP2AU・SUBSP3AU・SUBSP2BUのみ)

ワイド吹出口 ……… 冷風の広がりを調整できます。
(SUASP2AU・SUASP2BU・SUASP3AU・SUBSP2AU・SUBSP2BU・SUBSP3AUのみ)

オートスイング吹出口 ……… 風向が自動で変わり、広い範囲に冷風吹出しができます。
(SUASP2AU・SUASP2BU・SUASP3AU・SUBSP2AU・SUBSP2BU・SUBSP3AUのみ)

機　種　名	SUASP1BS	SUASP1BT	SUASP1CS	SUASP1CT	SUASSP1BS
機　能	冷房専用形				
ユニット構成	一体型				
熱交換器の冷却方式	空冷式				
送風方式	直接吹出形				

機　種　名	SUASSP1BT	SUASSP1CS	SUASSP1CT	SUBSP1BS SUBSP1CS	SUBSP1BT SUBSP1CT
機　能	冷房専用形				
ユニット構成	一体型				
熱交換器の冷却方式	空冷式				
送風方式	直接吹出形				

機　種　名	SUASSP2A SUASSP2B	SUASP2AU SUASP2BU	SUASP3AU	SUBSP2AU SUBSP2BU	SUBSP3AU
機　能	冷房専用形				
ユニット構成	一体型				
熱交換器の冷却方式	空冷式				
送風方式	直接吹出形				

アフターサービスと保証について

アフターサービスについて

⚠警告

●改造は絶対にしない
事故の原因になります。
改造による故障は、保証期間内でも
有料修理になります。

禁止

●修理は、自分でしない
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●冷媒がもれたら火気厳禁
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、
万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると
有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことを
サービスマンに確認のうえ、運転してください。

禁止

フロンについて

1) 地球温暖化防止のため、この製品を廃棄・整備する
　場合には、フロン類を回収する必要があります。
2) 本機には最大で、以下に示す量のフロン類が使用されています。
　P1形の場合：CO_2　870kg相当
　P2形の場合：CO_2　1,600kg相当
　P3形の場合：CO_2　2,000kg相当
　(詳細な数値は各製品の機種名銘板に表示されています。)

この表示はエアコンに温暖化ガス(フロン類)が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。

■修理を依頼されるときは次のことをお知らせください。

- ●機種名
- ●製造番号と据付年月日

（機種名、製造番号と据付年月日は）保証書に記載してあります。

- ●故障状況 ── できるだけ詳しく
- ●ご住所・お名前・お電話番号

■無料修理保証期間経過後の修理について
お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。
当社は、このエアコンの補修用性能部品を製造打切り後9年間保有しています。

■保守点検契約のおすすめ
エアコンを数シーズンご使用になると内部が汚れ、性能低下や水もれの原因になることがあります。
分解や内部清掃には専門の技術が必要ですので、通常のお手入れとは別に保守点検契約(有料)をおすすめします。

■点検と保全周期の目安について
[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]
表1は次の使用条件が前提となります。
①ひんぱんな運転・停止のない、通常のご使用状態であること。
　(機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回／時間以下を目安としています。)
②製品の運転時間は、10時間／日、1500時間／年としています。

●表1.「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期〔交換または修理〕
圧縮機	1 年	20,000時間
電動機（ファン・ルーバー・ドレンポンプ用など）		20,000時間
熱交換器		5 年

主要部品名	点検周期	保全周期〔交換または修理〕
センサー（サーミスタなど）	1 年	5 年
スイッチ類		25,000時間

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。
適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
注3.「保全周期」および「交換周期」は、使用条件（運転時間が長い、運転・停止ひん度が高いなど）や使用環境（高温・多湿など）がきびしくなると短縮する必要があります。
詳細は、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにお問合わせください。

■消耗部品の交換周期目安について

〔交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。〕

●表2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期
エアフィルター	1 年	5 年

主要部品名	点検周期	交換周期
ヒューズ	1 年	10年

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。
適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

詳細は、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにお問合わせください。
なお、当社が指定した業者以外による分解や内部清掃に起因する故障については、保証対象外となることがありますのでご注意ください。

■廃棄などについて

この製品は「フロン回収・破壊法」に定める「第一種特定製品」です。

- この製品を廃棄またはリサイクル（部品や材料の再利用）する場合には「フロン回収・破壊法」に基づく冷媒の回収・運搬・破壊・書面管理が義務付けられています。
お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご相談ください。
- 製品を廃棄する場合は、地域の条例にしたがって適正に処理してください。

■ご不明の場合は

アフターサービスについては、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにお問合わせください。

保証書について

- この製品には保証書がついています。
保証書は、お買上げの販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、エアコンを管理している方が大切に保管してください。

保証期間…据付日から1年

詳細は保証書をよくお読みください。

- 保証期間内に無料修理を依頼されるときは、お買上げの販売店またはダイキンコンタクトセンターにご連絡のうえ、修理のときは「保証書」を必ずご提示ください。
ご提示のない場合は、無料修理保証期間中であってもサービス料をいただくことがありますので、保証書は大切に保管してください。

お客様ご相談窓口

商品に関する修理・消耗部品のご用命や取扱いのご相談などすべてのお問合わせは下記の ご購入店 へご連絡ください。

ご購入店名	TEL	据付年月日　年　月　日

緊急時には下記コンタクトセンターへご連絡ください。
電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

ダイキンコンタクトセンター
（お客様総合窓口）

非通知設定の方は、最初に 186 をダイヤルしていただき、発信番号の通知をお願いしております。

フリーダイヤル 0120-88-1081（全国共通フリーダイヤル）
FAXでのお問合わせは　0120-07-0881（FAX専用フリーダイヤル）
http://www.daikincc.com（ご相談対応ホームページ）

営業時間：24時間365日対応いたします。
対応業務：商品に関するすべてのご相談・お問合わせをお受けいたします。
（修理、メンテナンス、取扱い、機種選定および別売品・消耗品・補用部品の販売など）

1108

ダイキン工業株式会社

本　社　大阪市北区中崎西二丁目4番12号　梅田センタービル
郵便番号 530-8323

東京支社　東京都港区港南二丁目18番1号　JR品川イーストビル
郵便番号 108-0075

3P262515-5F　M11A070A [1203] FS